

街の元気 ● みんなの元気を応援します ●

# VIVA city

ビバ  
\*  
シティ

公益社団法人  
石川県柔道整復師会

石整広報 101

特集

SSI

はつらつと健やかに  
人生を楽しむお手伝い

VOL.

15

2016  
December



## [ 柔道整復師倫理綱領 ]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

**viva city**

ビバ  
シティ

公益社団法人  
石川県柔道整復師会

石整広報101

VOL.  
15

2016  
December

**C O N T E N T S**

1 巻頭言

地域社会の中で愛され、信頼される存在となろう ニツ谷 剛彦

2 サポート接骨石川(SSJ)活動報告

①加賀温泉郷 寛平ナイトマラソン

②KOMATSU全日本鉄人レース

③野々市じよんからの里マラソン大会

④第2回 金沢マラソン

⑤地域の防災訓練に参加

石川県防災総合訓練／白山市出城地区総合防災訓練

9 新入会員紹介

10 第40回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

11 学びReport

①協同組合が二部構成で講習会を実施

②DVD『深部組織マッサージと筋膜リリース』を基に勉強会

13 let`s volunteer

①いざ白山へ!清掃登山を実施

②金沢南支部恒例 草刈り奉仕活動

15 支部だより

16 組合だより

17 トピックス

## 巻頭言

かんとうげん

# 地域社会の中で愛され、 信頼される存在となろう

～機能訓練指導に柔道整復術を活かすために～

『viva city』ご愛読者のみなさまには、日頃より公益社団法人石川県柔道整復師会の活動にご理解ご協力を頂いておりますことに厚く感謝申し上げます。平成28年度の本会行事も予定どおり執行し成果をあげているところです。今後さらに嶋谷清会長のもと執行部一丸となって、柔道整復師業界の発展のために邁進していきたいと思っておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、柔整療養費検討専門委員会が開催されている中、反社会的勢力に利用された柔道整復師が不正な事件を起こしてしまったことは大変に残念なことでした。幸いこの柔道整復師は公益社団会員ではなかったものの、柔道整復師業界にとって大きな問題であり、社会的な信頼を失ってしまったことは事実です。そのような状況の中にあっても10月の料金改定では、上部団体である公益社団法人日本柔道整復師会の折衝により、骨折整復料を中心に0.28%のアップ率を得ることができました。日整本部の方々のご尽力に感謝するとともに、柔道整復師一人ひとりが襟を正して良識ある行動をとることが肝要であり、責務であると感じています。本会においては、二度とこのような事件が起きないように保険講習会の強化や学術講習会の充実、さらにはボランティア活動の参加等を積極的に推進することで、信頼回復に努めていく所存です。

みなさまもご承知のように、我が国では高齢化が急速に進み社会保障制度に限りが予想されるため、高齢者が住み慣れた地域で自立



### ■ニツ谷 剛彦

(ふたつや たけひこ)  
(公社)石川県柔道整復師会 副会長

#### 【プロフィール】

平成17年より理事6期目。その間、事業部長・保険部長・金沢北支部長・健康やわら体操普及委員長等を歴任、北信越ブロック柔道監督としても活躍する。平成27年4月に副会長及び、日整代議員に就任。柔道6段。

し安心した生活を送れるようにする「介護予防事業」が進められています。とりわけ、新たに導入される「地域包括ケアシステム」は、高齢者が寝たきりにならず、自分で外出ができ、元気であり続けることを目指す仕組みであるため、私たち柔道整復師が本来の特技である柔道整復術を機能訓練指導に活かし、これまで以上に地域に密着した役割を担うことが大切であると考えます。必ずやこのシステムに参画できるよう、執行部一丸となって医師会をはじめ医療関係団体や行政機関と協議を重ねていく所存です。

柔道整復師業界では、解決していかなければならない課題がまだまだ山積しておりますが、県民のみなさま方が健康で安心して暮らすことができるよう、本会会員一同努力してまいります。

今一度読者のみなさまにおかれましては、これまで以上のご理解とご協力をお願いいたします。

Support Sekkotsu  
Ishikawa  
**SSI**  
サポート接骨  
石川

## サポート接骨石川(SS I)活動報告

# ハツラツと健やかに 人生を楽しむお手伝い

サポート接骨石川(SS I)は、公益社団法人石川県柔道整復師会会員によるボランティア組織です。ここでは県内各地で開催されたスポーツイベントでのケアサポートを中心に、さまざまな活動の一部をご紹介します。

● 特集 ●

### サポート接骨石川(SS I)活動①

## 加賀温泉郷 寛平ナイトマラソン



間寛平さんと宮元陸市長の名コンビ(?)が大会を盛り上げる!



日差しが傾き始める夕方4時、選手たちがスタート!

平成28年9月3日(土)、マラソンランナーとしても知られるお笑いタレントの間寛平さんがプロデュースする「寛平ナイトマラソン」が開催されました。開会式では寛平さんが「クマが出たらみんなでポッコポコにするんやで〜」とランナーを笑わせながら大会を盛り上げていました。

山中温泉山中座から県民の森を經由して山中温泉一周32キロを走る「寛平ナイトマラソン」は、その名のとおり夕刻にスタートして最大5

時間をかけて夜の里山を走るのが特徴です。今年が初めての開催となり、加賀市より依頼を受けた(公社)石川県柔道整復師会サポート接骨石川(SS I)委員会がブースを設置して、加賀支部会員を中心とした20名で参加選手794名へのケア・サポート活動を行いました。



夜風を切って走ってきた選手たちが、ブースでほっとひと息つく。



まだ秋の日差しが眩い夕方4時にスタート地点を飛び出した選手たちがゴールに戻ってくるのは肌寒さを感じる午後9時頃、その間に50名の選手がトレーナーブースを利用され、「第1回目からトレーナーブースが用意されている選手にやさしい大会ですね」と、高い評価を頂

きました。今後も継続される大会であり、選手たちから喜ばれるトレーナーブースを目指して頑張っていきたいと思います。

またこの大会からは、SSI委員会監修の新マニュアルのもとに活動を実施しました。

## サポート接骨石川(SSI)活動②

# KOMATSU全日本鉄人レース

長雨から一転して快晴となった平成28年9月25日(日)、「こまつドーム」をスタート・ゴールに、粟津温泉・木場潟周辺のコースと動山(603m)・赤瀬ダム・尾小屋をめぐる鉄人の部のコースで、第35回KOMATSU全日本鉄人レースが開催されました。真夏を思わせる天候のなか、過酷なレースに挑む選手たちへのサポート活動を(公社)石川県柔道整復師会、日赤奉仕団サポート接骨石川(SSI)、金沢大学トレーナー部KATT、北信越柔整専門学校講師・学生、総勢85名で行いました。

今年は第35回の記念大会となり、レース前々日の23日(金)夜に「感謝の集い」が催され、



号砲とともに、今年も苛酷なレースが始まった。

支援企業やボランティア団体の代表100名が参加しました。

### 延べ322名の選手をサポート

レースには、鉄人の部139名、ロング120名、ショート228名、チームリレー34×3名、総勢589名の選手が会場。我々は小松ドーム中央スペースにトレーナーブースを設営し、早朝5時30分から午後2時まで選手たちのケアサポートを行いました。

スタート前はテーピングやコンディショニングの悪いところをメンテナンスしてほしいと、110

名の選手たちがブース受付にぞくぞくと集まりました。また、レース後は疲労困憊の選手212名が訪れ、計322名をサポートしました。



限界に挑んだ選手の皆さんお疲れ様でした！



本会からも会員3名がチームにエントリー（左から松本市、中谷博、中田健市会員）。

この大会での活動は今年で21年目となり、毎年選手や大会オフィシャルから絶大なる信頼を頂き実績を評価されています。今回も地元で接骨院に通っている選手や韓国からの特別招待選手など多彩な選手がサポートを希望してトレーナーブースを訪れました。また今年は急激な気温変化で軽度脱水症状や下半身に痙攣を起こす選手が多くみられましたが、大きなケガをする選手もなくスムーズな運営ができました。これも参加ご協力頂いた皆様のお陰とだと思っております。「とても手厚いサポートをしてもらえる大会だ」という選手たちの声を励みに、来年以降もこの活動は続けていきます。

皆様のご協力をお願いいたします。



中田理事(左)と中村理事から、当日の注意事項等が説明された。



### 9/15 (木) KOMATSU 全日本鉄人レース 事前研修会が開催される

平成28年9月15日(木)午後8時より、小松ドームでKOMATSU全日本鉄人レース事前研修会が開催されました。本会会員16名と金沢大学アスレチックトレーナー部(KATT)の25名が参加し、中村茂之理事から当日の選手誘導など注意事項について、また中田健市理事から禁忌事項等が説明された後、橋本昌治会員による「メンテナンスとしてのストレッチ講習」が行われました。

会場には錦川孝彦SSI委員長も訪れ、万全な体制で取り組むメンバーたちにエールを送っていました。



橋本会員がストレッチ講習を実施。

# 野々市じょんからの里マラソン



心地よい秋風の中、  
飛び出していく選手たち。

平成28年10月16日(日)に「第35回野々市じょんからの里マラソン大会」が開催され、1,083人のランナーが出場。快晴の中、住宅街や田園地帯を通るコースを力強く駆け抜けました。

## ■高揚感と熱気に満ちたケアブース

大会前日の15日(土)にはブースの設営と事前研修会を行い、ケア活動における注意事項やストレッチの方法について確認し、翌日に備えました。

大会当日は、金沢南支部はじめ他支部より総勢28名の会員が、早朝6時に野々市市民体育館に集合。スタート前の午前7時頃から選手たちがブースを訪れはじめ、終了の11時半までの間に85名の選手に対してストレッチやテーピング、アイシング等を施しました。

今年は、翌週の日曜日に実施される金沢マラソンに向けて体力を温存するためか、一般の部の参加者が例年より若干少なかったのですが、その分、小・中学生の部に多くの参加がありました。そのような中、汗まみれでゴールした選手たちの顔には達成感に満ちた爽やかな表情が

スタート前から延べ  
85名の選手が  
訪れた。



みられ、ケアブースは選手や会員同士のコミュニケーションの場となり熱気に満ちていました。また、ブースを訪れた粟貴章野々市市長から激励と感謝の言葉を頂き、表彰式後の抽選会では「石川県柔道整復師会・金沢南支部賞」として賞品を提供するなど、選手からも大いに喜ばれました。



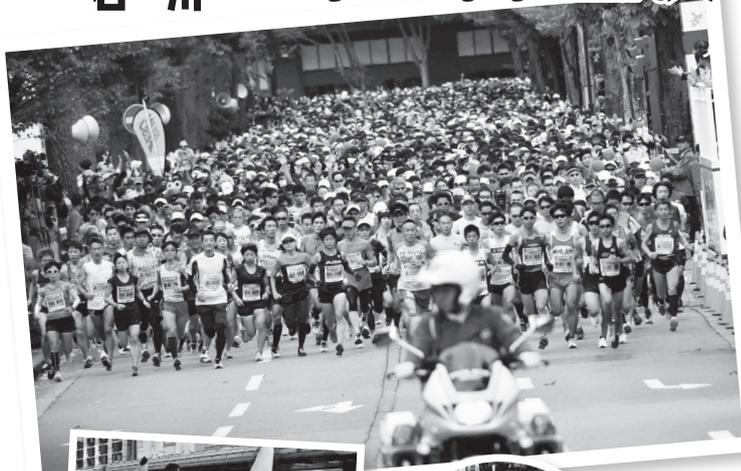
お楽しみ抽選会の当選者に  
金沢南支部賞が贈呈された。





サポート接骨石川(SSI)活動④

第2回 金沢マラソン2016



今年も北陸新幹線が快走！  
バナナも元気に走る。

平成28年10月23日(日)、金沢を歴史、文教、中心地などの7つのゾーンに分けて駆け抜ける第2回金沢マラソンが開催されました。大会のテーマは「金沢をまるごと走る」。出場した13,265人は秋晴れの中を走りながら、古都の風情と自然を満喫していました。沿道には23万人(主催者発表)が途切れることのない声援を送り、海外や全国各地から参加したランナーたちの心を温めていました。

医療関係者の連携で手厚い救護が実現

(公社)石川県柔道整復師会・SSI(サポート接骨石川)・赤十字奉仕団では第9救護所・ゴール救護所、そしてゴール後のトレーナーブースを設置し、IST(石川県スポーツトレーナー連絡協議会)・KATT(金沢大学トレーナー部)と協力して総勢82名でランナーたちにケアサポートを施しました。

31.5キロ地点にある第9救護所では68名の選手が体調不良を訴え、医師の診断後トレーナーのメンテナンスを受けた29名がレースに復帰することができました。またゴール救護所では、ゴール後にいろいろな場所で倒れ込んでしまったランナー32名を医師が診断、その後の応急手当をトレーナーが行いました。各救護所には、「MEDICAL」と書かれた赤いキャップとジャンパーを身に付けた医師やAED隊・看護師・研修医・医学部学生・ドクターランナーなど医療関係者が待機し、互いに連携して全身痙攣や下肢の障害で走れなくなった選手に手厚い救護を施していました。途中雨模様になり、天候が崩れそうでしたが、午後5時には無事活動を終了することができました。

選手達からの嬉しい声

ゴール後のトレーナーブースにはケアのために538人のランナーが訪れ、疲れ切った心身をトリートメントしていました。受付最終時間まで待合所に入れずランナーたちで長蛇の列



沿道からの声援とハイタッチに励まされて…

となっていました。

また、ケアを受けたランナーからは「トレーナーブースがしっかりしているから、とても安心して参加できます」や「棄権しなければならないかも…」と思ったけれど、トレーナーのおかげで完走できました」といった嬉しい声を聴くことができました。

今年の出場者は前回より約4,000人多く、無事に完走したランナーは出走者の96.7% (12,828人)となりました。来年以降も大会規模は大きくなる予定で、我々も会員の総力をあげてサポート活動にあたらなければならないと感じました。



ゲストランナーの松本選手も完走。



受付終了時間になっても、ケアを希望する選手の列が途切れることなく続く。



ブースの中は常に満床状態！

選手からの感謝の声や、サポート活動をする会員にとって大きな励みとなった。



10/12 (水)

## 金沢マラソン事前研修会を実施！



柔整会館にて午後8時30分より、ケア活動への参加会員29名を対象に研修会を実施しました。まず錦川孝彦SSI委員長の挨拶の後、西川典孝副委員長が大会概要、スタート・ゴール地点へのアクセスや通行規制、活動のスケジュール等について入念に説明。次に、中田健市副委員長が「ケア・サポート活動での基本的ストレッチと活動における禁止事項」の講義を行いました。中田副委員長は他の大会への出場経験も多く、金沢マラソンでの活動が安全・安心で効果が高く配慮の行き届いたものとなるよう具体例をあげて説明しました。終わりに中村茂之委員が、主に下肢の筋肉の機能や作用を考慮しながら基本的なストレッチについて実技講習を行い、参加会員は終始真剣な眼差しでメモを取っていました。

最後に二ツ谷剛彦副会長が、本会として統一されたケアサービスを提供することで大会成功の一助になればと挨拶し研修会を終了しました。

ハラスメントについて

セクハラ・バウハラ・モラハラの違いについて活動の場では特にセクハラとバウハラが問題となります。

雇用している会社従業員も組織もできないこれらの行為を行っている本人は自分の行為に気付いていないケースがあります。

ダメ！

サポート活動における禁止事項等が入念に説明された。



## サポート接骨石川(SSI)活動⑤

# 地域の総合防災訓練に参加



熊本、鳥取と大地震が立て続けに発生しました。本会では、県内各地で実施される防災訓練に参加して、避難誘導や救助活動に取り組むと同時に、災害時の応急処置など緊急時に役立つ知識を一般の方に広める活動を行っています。

### 石川県総合防災訓練

▶▶▶ 9月4日(日)

平成28年9月4日(日)、七尾市で第57回石川県防災総合訓練が行われました。七尾市は平成19年の能登半島地震で震度6強の揺れに見舞われ、127人が負傷、家屋の全・半壊272棟、一部損壊6,473棟と大きな被害を受けました。それだけに今回の訓練には過去最多の102機関が参加し、会場となった能登歴史公園・山王小学校・矢田新第一埠頭・介護老人福祉施設などでは、市民約9,000人が迅速な避難誘導や救助活動の訓練に取り組みました。

本会の赤十字奉仕団(日本赤十字社石川県支部)からは8名が参加、避難所となる山王小学校体育館に救護所を設置し、避難してきた住民に対する救護ケア活動の訓練を行いました。

今回は小学校体育館が会場で生徒達も避難訓練に参加するため、負傷者役が見つからない可能性があります。そこで西敏男理事のお子さん

西理事のお子さんが負傷者役として訓練に参加してくれた。



蒸し暑い体育館の中で汗だくに!



視察に来られた谷本知事に今回の訓練で行った応急処置法について説明。



負傷者役の可愛さに谷本知事もこの笑顔。

2人に協力を依頼し、30度を超える蒸し暑い体育館の中で汗だくになりながら、包帯やラップを巻いた負傷者役を頑張ってくれました。そしてなによりその姿がかわいらしく、視察に来られた谷本正憲知事も2人の姿を見た瞬間に笑みがこぼれ、山田俊志支部長の訓練説明もずっと笑顔で聞き入っておられました。

そのあと訓練を終えた山王小学校の児童たちが体育館に来て、包帯姿の2人に「何しとるが?」と寄って来たので、「痛いところはこうやって動かさないようにしたらいいよ」と、買い物袋を使った腕のつるし方や、身近にある物を使った捻挫・骨折等の手当てを実演したところ興味津々で次々と集まって来て、何度も何度も実演することに。やがて友達同士で包帯を巻き

興味津々で集まってきた子ども達のために、何度も実演を繰り返す。



合う姿も見られました。今回、思いがけず多くの児童たちに災害時の救護法を理解してもらうことができ、とても意義のあるボランティア活動になりました。

## 白山市出城地区総合防災訓練 ▶▶▶ 9月4日(日)



出城地区の住民ら約 200 名が参加した。

平成 28 年 9 月 4 日(日) 早朝 7 時 30 分より、白山市立蕪城小学校(体育館及び周辺敷地)で出城地区防災訓練が実施され、金沢南支部会員が協力・参加しました。また訓練 2 日前の 9 月 2 日(金)に事前準備・研修会を開催し、当日に備えました。

訓練は「平成 28 年 9 月 4 日(日) 午前 7 時 30 分頃、森本・富樫断層帯を震源とするマグニチュード 7.0 の地震が発生し白山市において震度 6 強の強い揺れを観測、家屋の倒壊や火災が発生し負傷者が出た」との想定のもと行われ、地域住民ら約 200 名が参加しました。

今年度は、はじめに松任消防署千代野分署の西村健治氏による「災害時に住民の取るべき行

動」と題した講演があり、その後、地域住民の体験型訓練に移りました。本会の応急手当訓練コーナーではマスメディアの取材に応じて、四肢の骨折に対して身近にある傘、段ボール、ビニール袋等を工夫したシーネ固定などの説明と実技を行い、参加住民が自ら簡易担架を作成し、シーネ固定、搬送までを体験してもらいました。

解説をしながら、ストッキングを使った応急処置法を実演。



会員が実演した後は、参加者にも簡易担架の作成等を体験してもらった。



よろしく  
お願いします!

## 新入会 紹介 員

金沢北支部

平成 28 年 10 月 1 日入会

**渋谷 利之**

(しぶや としゆき)



生年月日 昭和 33 年 12 月 14 日

出身校 北信越柔整専門学校

住所 金沢市山の上町  
4 番 22 号

接骨院名 学校法人木島学園  
木島接骨院

電話 076-252-2121

特技・趣味 旅行・映画鑑賞・剣道

## 第40回 厚生労働大臣旗争奪日整全国柔道大会

# 石川県から 4選手が出場、 準優勝に輝く!

平成28年10月9日(日)、東京 講道館で日整全国柔道大会が開催され、石川県と福井県の代表選手で編成された北信越西部代表チームが準優勝杯を獲得しました。



見事な準優勝。おめでとうございます!

石川県代表チームからは、窪田和樹選手、田中寿人選手、城寶忠信選手、丸田克幸選手の4名と西川典孝監督が北信越西部代表として出場し、みごと準優勝に輝きました。なお、北信越西部代表チームから窪田和樹選手が優秀選手賞を受賞しました。おめでとうございます。

また同日講道館にて、第25回日整全国少年柔道大会・第6回日整全国少年柔道大会形競技会が開催されました。柔道大会には予選を兼ねた石川県柔道整復師会主催の会旗争奪少年柔道大会で優勝した窪田柔道倶楽部が出場しました

日整全国少年柔道大会に出場した窪田柔道倶楽部の皆さん。



日整全国少年柔道形競技会には、鶴来坂田道場から2人の選手が出場した。



### 北信越西部チーム 代表選手の皆さん

監督	西川 典孝 <5段> 石川
大将	丸田 克幸 <6段> 石川
副将	川口 稔 <6段> 福井
中堅	城寶 忠信 <5段> 石川
次鋒	田中 寿人 <5段> 石川
先鋒	窪田 和樹 <3段> 石川

優勝	南関東
準優勝	北信越西部
3位	北関東
3位	中関東

### 試合結果

#### <1回戦>

北信越西部 2-1 北信越東部

#### <2回戦>

北信越西部 2-0 九州

#### <準決勝>

北信越西部 3-0 中関東

#### <決勝>

北信越西部 1-4 南関東

が、残念ながら初戦突破はなりませんでしたが、そして形競技会には予選大会で準優勝だった鶴来坂田道場が出場、予選ブロックで3位と健闘しましたが決勝進出はなりませんでしたが。

※詳しい結果については下記URLにアクセスしてください。

公益社団法人 日本柔道整復師会  
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>



## 田中寿人会員が おめでとうございます 産別功労表彰を受賞!

日整全国柔道大会開会式にて、全日本産業別柔道大会に8回出場の田中寿人会員が日本柔道整復師会から表彰されました。



## 学びReport ①

# 協同組合が二部構成で講習会を実施

### 第1部 石川接骨みらい塾

## 施術所経営における賠償リスクと対策

講師／三井住友海上火災保険(株) 雨澤 亮祐氏



賠償責任保険について、施術所内で起きた事故やケガに対して実際に支払われた事例をもとに説明が行われ、柔道整復師賠償責任保

険の取り扱いを行っている代理店の紹介がありました。

### 1. 施術所経営におけるリスク

- (1) 施術に起因する賠償事例について
- (2) 施設に起因する賠償事例について
- (3) 従業員に関する賠償事例について(使用者賠償)

使用者賠償とは、業務上の事由による従業員等のケガや病気のために事業者等(被保険者)が負担する法律上の損害賠償責任や訴訟費用等

### 2. 柔道整復師賠償責任保険のご案内

### 3. 業務災害補償保険のご案内

### 第2部 指定業者コラボ講習会

## 疼痛緩和・ROM拡大に着目した電気治療器の効果的な使用方法

講師／(株)日本メディックス 橋本 博光氏

電気治療の基礎と症状に合わせた電気治療について、実技を交えながら説明が行われました。

日時■平成28年10月2日(日)午前9時～  
会場■石川県地場産業振興センター 本館



- 1. 電気刺激療法の基礎について
- 2. 電気刺激療法の目的と作用機序について

(1) 神経筋コントロール(筋力維持・増強)＝中周波電流療法 高電圧電気刺激療法

(2) 疼痛緩和＝低周波療法 高電圧電気刺激療法

(3) 炎症改善＝微弱電気療法(ミトコンドリアを刺激しATPを活性化)

(4) ROM(関節可動域)拡大＝微弱電気療法、中周波電流療法、高電圧電気刺激療法  
自律神経への作用⇒微弱電気療法  
筋緊張緩和⇒中周波電流療法 高電圧電気刺激療法

### 3. 実技(使用医療機器:SSP複合治療器アスピア)

(1) 膝関節治療(亜急性期)…低周波療法(SSP)＋高周波療法(HV)

(2) 肩関節治療(ROM拡大)…低周波療法(SSP)＋高周波療法(HV)＋ハンディプローブ

(3) 足関節治療(急性期)…微弱電流療法＋アイシング



膝関節治療を体感してみる。



## 学び Report ②

# DVD『深部組織マッサージと筋膜リリース』を基に勉強会

平成28年10月5日(水)午後8時30分より、石川県柔道整復師会館にて学術部が勉強会を実施。ジャパンライム(株)が制作したDVD『深部組織マッサージと筋膜リリース』を基に、軟部組織、特に深部組織への施術技術について学びました。



台風通過で強風が吹き荒れる中、11名の会員が参加した。

このDVDは全7巻で、「1. 基礎編①②」、「2. 方法編③④⑤」、「3. 診断と損傷の処置編⑥⑦」の3つのセクションで構成されています。今回の勉強会では「基礎編①」のみを鑑賞しましたが、熟練した方は「方法編」から始めても理解できる内容です。説明が理論付けてなされ

ており、日本語訳がついていますので、新たな気づきを喚起してくれます。貸し出しも可能ですので、興味のある方は規定に従って申し込んでください。

学術部は今後も、皆さんのスキルアップに役立つ勉強会を模索してまいります。

8/28 (日)

## 北信越柔整専門学校学術研修会で 高熊二夫会員が発表

第43回北信越柔整専門学校学術研修会並びに北光同窓会・北光同窓会懇親会が、ホテル金沢で開催されました。

はじめに碓井貞成北信柔整専門学校長から挨拶があり、来賓の阿部松雄(公社)日本柔道整復師会・北信越ブロック会長の祝辞に続いて研究発表を行い、本会からは加賀支部 高熊二夫会員が、「仙腸関節捻挫 所見・起因・対応」と題した発表を行いました。研修会の最後に、本会の西川典孝保険部長が「療養費・受領委任制度」をテーマに医療セミナーを行い、基本的な保険取扱いについて解説しました。

研修会終了後の北光同窓会で二ツ谷剛彦副会長が同窓会副会長に、また堂本義邦副会長が同窓会石川県支部長と評議員に就任し紹介されました。



(公社)日本柔道整復師会  
北信越ブロック会会長  
阿部 松雄氏



北信越柔整専門学校長  
碓井 貞成氏



発表者の皆さん(左から3人目が高熊会員、右端が西川保険部長)。

# let`s volunteer

ボランティアで  
心の健康

“誰かのため”が、自分自身の糧になる…  
本会会員の小さな一歩をご紹介します。

episode

1

自然の美しさに心洗われて

## いざ白山へ！ 清掃登山を実施

今年から国民の祝日「山の日」となった平成28年8月11日(木)、開山千三百年を来年に控える白山への清掃登山を行いました。

朝6時の別当出合(標高1,260m)の登山口は、気温17度と絶好の登山日和！参加者6名はトンゴとゴミ袋を手に元気よく「砂防新道」の清掃活動を開始しました。途中の急峻な十二曲がり坂では、白山の伏流水「延命水」で喉を潤しました。御前峰(2,702m)頂上や室堂付近では、既に訪れていた多くの登山愛好家や家族連れに交じってハクサンフウロ、トリカブト、イブキトラノオなどの高山植物を愛で、白山からの絶景と自然の美しさを堪能しました。

今回の清掃登山では、登山者のマナーが良いため不用意に捨てられたゴミはほとんどなく、多くはストックリングや手袋、タオル、キャップなどの落とし物や忘れ物でした。それらの忘れ物はセンターに届け、ゴミは持ち帰りました。

ひたすら続く砂防新道で清掃活動開始。

ついに山頂！疲れも吹き飛ばす達成感だ。

日帰りでの清掃登山活動は初めての試みで体力的な不安もありましたが、参加した会員は互いに助け合い協力して、予定時刻の午後4時過ぎに無事に下山することができました。

帰宅途中に白峰温泉の総湯で汗と疲れを洗い流し、大自然を満喫し恵みに感謝した奉仕活動になりました。

参加者 木山 隆久、中田 健市、東 勝一、  
南野 立志、大平 和幸、村 扶希子  
以上6名(敬称略)



大自然の中で真っ白な  
SSIのジャケットがひと際爽やか。

episode

2

チャレンジマイハート

## 金沢南支部恒例 草刈り奉仕活動

平成28年8月21日(日)、金沢南支部恒例の草刈り奉仕活動が社会福祉法人石川サニーマイトで行われました。

台風の影響かやや蒸し暑い朝でしたが、27名の会員家族が作業開始の午前6時に集合。他支部からも5名の会員が応援に駆けつけてくれました。

西川典孝金沢南支部長の挨拶に続いて、中村純子施設長からもご挨拶を頂き、いざ出陣！一斉に施設内に散らばるや、華麗なるチームワー



段取りの良い作業で順調に終了しました。

クと無駄のない動きで作業は1時間足らずで終了。満面の笑みで施設から頂いたアイスを頬張り、奉仕活動に参加できる喜びを感じた夏の朝となりました。また、清々しい汗をかきながら会員同士や施設の方々と交流ができたひと時は、慌ただしい日常の中の一服の清涼剤となりました。

貴重な日曜の早朝にもかかわらず参加された会員、遠路参加頂いた他支部会員と家族の方々には感謝申し上げます。



役割分担も阿吽の呼吸で。



子どもたちもお手伝い、偉いぞ!



## 健康やわら体操 普及活動を推進中!

### ■平成28年度健康やわら体操普及委員会開催



体操の動作を一つずつ確認。

平成28年6月21日(火)午後9時から、柔整会館において平成28年度初めての委員会が開催されました。はじめに、木山隆久委員長から挨拶があり、その後、今後の活動について協議しました。またデモ映像を見ながら、体操の動作一つひとつについて確認を行いました。

### ■グランドゴルフ大会会場で普及活動を実施



4名の委員が指導役を務めた。

介護予防や準備運動に最適な運動として紹介。

平成28年8月21日(日)午前8時15分より、野々市押野中央公園で行われていたグランドゴルフ大会で健康やわら体操の普及活動を実施、介護予防と準備体操を目的とした運動として健康やわら体操を紹介しました。

この大会に参加されていたのは金沢押野町内会の約50人の皆さんで、ほとんどの方が70代から80代の高齢者でした。そこで早い動作や深い屈伸を避けて、負荷のかからないように注意しながら単純な動作にアレンジし、試合前の丁度良い準備体操として喜ばれました。

### 金沢南支部第1回委員会 支部事業の詳細を決定！

平成28年7月12日(火)午後8時30分から柔整会館にて、今年度の第1回委員会が開催されました。

はじめに西川典孝支部長より挨拶があり、続いて平成28年度事業計画の打ち合わせと担当委員について協議を行いました。また、6月に新潟県で行われた北信越ブロック柔道大会での10連覇達成と、全国大会に向けての強化練習日程などが石川県代表監督を務める西川支部長より報告があり、南支部から出場する窪田和樹、城實忠信、田中寿人、丸太克幸会員が紹介されました。

なお南支部委員会終了後、北支部役員・委員との合同委員会に移り、7月に開催する会員家族親睦会及び奉仕活動等について意見交換が行われました。特に、家族親睦会は2支部合同で行うため、役割分担やタイムスケジュール等に抜けがないよう入念に確認しました。



南支部委員会終了後、北支部が合流。合同で行う家族親睦会について話し合った。

## 金沢北&南支部

### 合同で会員家族懇親会を実施 夏のひと時を楽しく、和やかに

平成28年7月24日(日)ANAクラウンプラザホテル金沢ガーデンドームにて金沢北・南支部会員家族親睦会が行われました。気温32度、やや曇り空でしたが心地よい風が吹く過ごしやすい夏の日曜日となりました。

受付を済ませた会員家族50名は、様々な団扇を手に会場内へ。用意された料理やお酒を横目に見ながら静かにテーブルにつき、開宴を待ちます。堂本義邦・二ツ谷剛彦両副会長をゲストに迎え、金田豊茂金沢北支部長、西川典孝金沢南支部長の挨拶の後、待ってましたとばかりにグラスを高々とあげ、参加者一同で乾杯！北陸新幹線の車内にまで届かんばかりに高らかに響きました。

懇親会には、家族だけでなく研修中の若き柔道整復師を連れ立って参加する会員や、孫娘の手を引いて「孫守りを押し付けられて、イヤに

ビールサーバーから  
離れられません。

孫守り、最高！



なった」と言いながらも満面の笑みを浮かべて好々爺ぶりを発揮する会員も。中には汁少なめのラーメンにカレーをかけ、その上に氷をトッピングした「冷やしカレーラーメン」なるものを頬張りながら「これが美味しい！」と豪語する会員もいて、会場は大いに盛り上がりました。フィナーレは、やはりじゃんけん大会。勝っても負けても笑い声が絶えない、アットホームな懇親会となりました。



じゃんけん大会に熱くなる！

## 組合だより 第19回 協同組合家族親睦ボウリング大会 2年ぶりのボウリングに弾けました！

平成28年10月2日(日)午後2時より、コロナキャットボウル金沢において協同組合家族親睦ボウリング大会が行われました。2年ぶりの開催となる今回は、会員・家族のほか中川利幸事務局長はじめ事務局職員全員と指定業者の前田印刷さんからの2名も参加し、総勢52名での大会となりました。

橋本大衛理事長の挨拶のあと、中川事務局長の始球式でゲームがスタート。あちらこちらでストライクラッシュの歓声が上がり、久しぶりのボウリングで楽しいひと時を過ごしました。



中川事務局長 緊張の始球式。  
結果は？

母子でハイタッチ！



ストライクラッシュに歓声が沸く。

優勝カップは嶽会員の手に。



【協賛業者】

前田印刷  
ユニオントラスト  
富国生命

【成績】		
優勝	嶽 与志藏	393点
2位	中川 利幸	338点
3位	木山 隆久	328点
4位	木村 光喜	324点
5位	背戸 直幸	311点
6位	木藤 正幸	310点
7位	錦川 孝彦	309点
8位	有澤 章良	303点
9位	野村 胸勝	303点
10位	有澤 美穂	296点
BB	中野 秀人	172点



## トピックス①

### 北信越ブロック柔道大会 10連覇達成記念祝賀会を開催



木山時雨特別顧問のご発声で祝賀会がスタートした。

平成28年8月7日(日)ホテル金沢にて、北信越ブロック柔道大会10連覇を記念して祝賀会が開催されました。この偉業に貢献した監督・選手が一人ずつ入場し、平成19年の長野大会から続く勝利の軌跡をスライドと錦川孝彦事業部長のナレーションで紹介、どの年も激戦を制しての優勝でした。

嶋谷清会長より「これからも一戦一戦を大切に、ケガをしないで勝利を重ねていってください」との祝辞の後、長年選手の育成強化に尽力してこられた竹野敬治会員に柔道特別功労賞が授与されました。続いて西川典孝監督が祝賀会開催の御礼を述べ、今後も連覇を続けられるよう会員の力添えをお願いします。

祝宴は木山時雨特別顧問の乾杯のご発声で始まり、出席者全員が10連覇達成の余韻に浸りました。その後、出席者からの祝辞、柔道選手たちのアトラク

クションなどで大いに盛り上がるなか、堂本義邦副会長の一本締めで幕を閉じました。



10連覇達成の余韻に浸りつつ歓談。

## トピックス②

### (公社)石川県柔道整復師会・ 石川県柔道整復師協同組合 合同協議会が開催される

平成28年8月27日(土)石川県柔道整復師会館において、(公社)石川県柔道整復師会・石川県柔道整復師協同組合の合同協議会が行われました。理事全員が参加して次の事項について協議し、発展的協力のため互いの関係を密にしていけることが確認されました。

#### 【協議事項】

- ①平成28年度予算説明(公社への助成金等について)
- ②防災マニュアルの共同作成について
- ③2月の学術講演会への関わり方について
- ④協同組合公式フェイスブック(Facebook)ページ作成について
- ⑤ユーチューブ(YouTube)による学術的映像配信事業について
- ⑥会員への福利厚生事業について
- ⑦その他



本会理事、協同組合理事が一堂に会して協議がなされた。

- ❖もうじき一年が過ぎようとしています。皆さまはどのような一年でしたか？ 幸せだったり、楽しかったり、悲しかったり、怒ったり、苦しんだり、いろいろな感情がありますよね。私たちの仕事でも患者様のいろいろな表情を見ることがあります。その感情によっては症状の訴え方も違います。一つのヒントからいろいろな観察ができると思います。ぜひ患者様を診るときは、様子を見て、気持ちを観て、心を診てあげてください。何かが変わると思います。（茶唐）
- ❖ある日の昼下がりに、カメラ片手に静寂の大乗寺（国指定重要文化財）を拝観しました。どっしり落ち着いた総門をくぐり抜けた先に、鮮やかな朱色の山門が視界に入り、両脇には巨大わらじと阿吽の像。その威圧感に身も心も引き締まる思いでくぐり、振り向くと「幸せの鐘」が。柱に掲げられた「我れ知らず息づいてるこの幸せに感謝しよう」の言葉に背筋が伸び、不満だらけの我を恥ずかしく思う。（記八馬）
- ❖金沢マラソンの取材に行ってきました。私の秘かな楽しみはコスプレしたランナーを撮ることです。今年は「バナナマン」「北陸新幹線」「フリーザ様」などの撮影が出来ましたが、一番の衝撃は裸足で走っていた3人のランナーでした。なぜ裸足？ 何のために？ 痛くないのか？ マラソンランナーの謎は深い。（中野）
- ❖第36回ジャパンカップは、見事一番人気のキタサンブラックが期待に届いて優勝しました。賞金3億円を獲得して壇上でインタビューに応じる北島三郎さんと武豊ジョッキー、とても嬉しそうで何よりでした。一番人気を背負ってレースに勝つことのプレッシャーは相当なものだと想像できます。それを跳ね除けての横綱相撲での圧勝でした。本当におめでとうございます。只々残念なことは、どうして私はそれを買ってなかったのだろうか。ショック！（小松）
- ❖10月のはじめ頃、我が家に珍客が訪れました。それはケラ。日本では古くからおけらの名で知られている昆虫です。彼らは土に穴を掘るだけと思われていますが、実際は地上をすばやく走り、水上を泳ぎ、空を飛ぶスーパーアスリート。でも昔の人はどれも一流ではないただの器用貧乏とみていたようです。彼らにとっては大きなお世話。そんな声が聞こえてきそうです。（太田）
- ❖「横山大観の旧宅および庭園」が国の史跡及び名勝に指定されたということで、東京上野池之端不忍池のほとりにある横山大観記念館に行きました。玄関を入るとすぐ左手に客間「鉦鼓洞」があります。大観が一時期住んでいた茨城県五浦の洞窟の名前から取ったと説明され「鉦鼓洞」の落款は大観を示すものだと初めて知りました。「游刃有余地（習作）」が展示されていましたが、その余白には大観のその時々を精神的なものが見え隠れすること。達人の境地の一部を見たような気がしました。芸術の秋、ちょっと得した気持ちになりました。（橋本）
- ❖来年2017年は酉年です。「とり」は取り込むと言われ、運氣もお客も取り込み商売などには縁起が良いと言われてます。また「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので収穫した作物から酒を抽出するという意味や収穫できる状態であることから、果実が実り熟成した状態を表しているそうです。酉年生まれの特徴は、鋭い直観力、行動力がある、親切で面倒見が良く、社交性抜群。来年はいろいろな情報をとりいれて積極的に活動し、皆で幸せになりましょう。＼(^o^)（木藤）
- ❖11月14日、月が大きく明るく見えるスーパームーンが話題になった。月までは約384.400km。歩くと約11年、車で約9か月、新幹線で約2か月、飛行機で約16日、光で約1.3秒…やはり遠い。いつもより大きく近くに見えても宇宙飛行士にでもならなければ行けないが、願い事は叶うかも。次のスーパームーンは2018年1月1日。元旦の初日の出を見て願掛けを行い、夜はスーパームーンに願い事をすればご利益があるかも。（ゆどうふ）
- ❖高齢者の人身事故が数多く報道され、官民両面からの早急な対応が待たれる。が、「高齢だから免許証返納」とするなら山村部を含め生活が成り立たない。アクセルペダルの横方向改造も踏み違い防止には効果はあるが…。最終的には完全自動運転技術が確立されれば様々な障壁を乗り越えられるのだろうが、現状何かを一つ変えれば別の問題が発生。簡単に済む話ではない。我々の番までそう遠い話ではない。クワバラクワバラ。（間もなく0.1トン）

ピバ・シティVOL.15 石整広報101（平成28年12月20日発行）

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26

TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196

E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／嶋谷 清

■編集者／佐藤 裕之・木山 隆久・中野 秀人・小松 英夫・橋本 大衛・太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均・五十嵐 久智



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26  
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196  
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp



撮影 金沢南支部 木山 隆久会員  
使用カメラ:ニコンD 90  
使用レンズ:AF-S NIKKOR 18mm-300mm  
P:プログラムオート

#### 「トキ里山館の朱鷺」

平成28年11月19日(土)、いしかわ動物園に「トキ里山館」が開館し国の特別天然記念物の朱鷺が一般公開されました。新潟県佐渡市の「トキの森公園」に次ぐものです。

いしかわ動物園生まれの幼鳥3羽を含む5羽が能登の里山を模した棚田や池などで餌を食べる様子や生態が観察できます。

朱鷺は非常に警戒心が強くなかなか撮影チャンスが巡ってきませんでした。一瞬の羽ばたきの際に見せてくれた朱鷺色(うすい朱色)の上品な美しさに魅了されました。